

Q1

観光教育には、どのような学習効果がありますか。

観光教育は、総合的な学習の時間を中核として、地理や歴史など観光と親和性が高い社会科や、観光のフレーズを扱う外国語科等との教科等横断的な学習を展開することができます。

□ 「総合的な学習の時間」における学習効果

総合的な学習の時間において、身近な観光を題材として、探究的な学習過程を構築することにより、主体的・協働的に学習に取り組む力や、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育むことができます。

【観光を題材とした「探究的な学習過程」の例】

- ① **【課題の設定】** 体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
・多くの観光客が訪れる地域の特色を題材として探究課題「観光客に喜ばれる地域の魅力って何だろう」を設定
- ② **【情報の収集】** 必要な情報を取り出したり収集したりする
・地域のよさについて話し合い、よさを確かめるための見学、体験、アンケート調査を実施
- ③ **【整理・分析】** 収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
・収集した情報を整理、これまで気付いていなかった地域のよさを発見
- ④ **【まとめ・表現】** 気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する
・「本当の地域のよさ」について話し合い、新たな探究課題「地域の持続可能な観光について考えよう」を設定

□ 各教科等における学習効果

社会科の「資料を活用する能力」、外国語科の「コミュニケーション能力」など、他教科等で学んだ知識や技能を活用して課題解決を図ることにより、観光教育の学習効果を高めるとともに、各教科等を学ぶ意味を実感することができます。

【各教科等の知識や技能を活用した観光教育の例】

時期	テーマ	学習内容
1 学期	〇〇市の観光の特色を知ろう	・〇〇市の観光の特色を、市のホームページや観光協会のパンフレット、統計資料などを活用して調べ、クリーン作戦、PR 活動等に参加
2 学期	〇〇市の観光を盛り上げるアイデアを出そう	・地域の観光産業に携わる人々や観光客への調査をもとに、〇〇市の観光の活性化に向けて、自分たちでできることを検討
3 学期	自分たちのアイデアを実践してみよう	・〇〇市観光の情報発信、観光客へのPR 活動等の実施 ・〇〇市の新しい観光プランの立案

社会：統計資料の活用

国語：インタビュー、提案、討論

図工・美術：ポスター、パンフレット作成

外国語：英語による PR